

# 春合宿 山ごもり班

永見 哲

## ① ニッカーの話

ニッカーとリッマモウ井スキイの話しやないが、足にはくやフの事さ。このニッカーをばいせおんさどが、モタモタしてつた。電車に乗れぬから、さして、「ホイゴメン、ホイゴメン」なからちよけとまきのの袋い色の鞆行袋がたんかかつりて階段をトントントップかけ上るなりさ、りまざりなせちとてうんたけどちよけのつらさ、ぼろで、ホカクの引、越した、なして声かきこえたりけや。

何とリッマモウニッカーはあ、たかいしひざも自由は回さる最高なだけど、まあ欠点と云えば、ニッカーはリッマモウのは、おれなけち、ちのぶね。

## ② 二十五時間の旅

い、たけけの話しやいさ、これはつまり東京から四国は宇和島までさ。な時間なの上、五時に何時間かおれ交ち午にたけちとまあ二人なものを、な。

何のためには二人は銀行と急行を乗りつたか、云えば、これはもう周遊券をつくるなけおさしりるその一念でしかなり。

マモ運初の内、何とだじもつたわさうとさうせん、なけちも木櫃信になつてくるとかもしりり人が出てくる。何とまあ、走る

前かき駅のホームで、パンク修理もしたものだ。セオが部長のやる事は一味ちがう、ていどだ。ね、吉本さん。

### ③若物がまなび

宇和島に着いて、チャリンコを組み立てて終、てきて五日前に送ったはずの荷物を受けとるといふとこれが着いていない。

まあしよすがのせや、こゝは海外だから(本州から見て四回分)の人で次の列車でといてもらうとわかきく、てるとよと思ひ出した。約一名人間も着いてたりよ。まちよ千を回して電燈へ行方を問ひ合はせてる内だ、ホッとしてこぼれおれよした。この人がうちよのノ知事じゃなくって僕本道主だ。たゞし一目見て御しよさで、宇和島名物凸凹手を御見物なさ、たよか。イヤへ御執心な事で、何とも非常へにためになる話を聞かよとが興味のある人は教えてもよつて下すよ。

よか何よサ言。て次の列車が来ても荷物かまなび、まなび。ヨリよと悪いよあせか税ひかか始めるもので、やあ、今ごよは高松だしか、イヤ岡山で五よの電よか、つてりよのになよとまたよ千程内を回ってりよよか。

またよの次の列車がくるまでとよの~~前~~前のカートレーンにしかけて、他のサインリストが転行してりよのよ見物するちげよよか、見よまてよ方はたま、たやんじやなり。

店のオッサンは、ガキを二人つかまよるが、チャリンコは二つしかもよてなよ。オッサンよ大きい方のガキが乗るよして、よより

あのガキはこゝにのこる人がない。ホーホのガキの十ヶり、  
こぼれみい、まいは531を使ひよるぞ。何んぞガクシールだけ  
しやる。いやあは目録が豊、まやつたが、親バカなとこ、とこ  
ろでいさりあのガキは又こゝにのこるのうな。後子にませるといふ。  
いや、フロントバックにのこる人な。フロントにはいりくるな  
んでも入る。『さうニつら分けてサイトは入れるんかよ。』

結局ホエをいり、子供が学なる貝物人での事か、な。

これが、どこの女子大生のお路さんでも旅行してらるもんな  
さ、『あは永見、この大深が聞りて来い。』と、こねたもんね。  
で、聞りておると確か、都立大のお軒さまとたかと思ひました。  
こゝろを貝物してらる時は、あま、会話がな、ちあホエと、  
後でいりりる新してなけや。

で、結局荷物はこたいてYHは一泊。

せうがに翌日は、荷物がとてりな、とした。し思、そのもつ  
かめま、『あーペグが入ってたりて、荷づくりの時は、た  
しかしあ、たごー、入れ物すたなかな。いやあしかな入れた。  
もしかしなつめ啓えな時、出したまんまじゃあな。』

ペグの無小理由はあ、さかペグは無いのて宇和島中のスポー  
リ店から買つたよ。『ピッピッと、後から来るやつらはペグ  
もあれても、もう宇和島にはペグはないんぞ。』

三人はこゝろ、さうから出発早、取り降るわけ。後からま  
を別の理由、さう見おくるたてスタート。

④ 雨かたまりの日々 その一

走り出した最初の日は雨が降ってました。雨の降る日には車  
目を着ますが、サイクリングの場合ポンチョをつけるのが入ら  
ないでしろうが、でもこの日は透明人間と消防士さんのがま  
つて居ました。透明人間さんとはまが西尾、しくていり  
けいあのみっか(壺赤)な山岡の雨具はあまり、ちね、あけや  
かむがすづりといろかかッコをか、五びすの山岡さん、スント  
色あさるさんの話

で、その日は「花のしん」の所に行、ちねけちんですつてこた  
たのが、オサルさんときももんた、まあちねけちもやり取りが  
で、う、かり自転車にサイトをつけ、げんして外れおししりな  
サイカの牛の手をつ、二人を食器を引きつり先して高い所へ持  
て行つてチャックをあけて中を調べて食器がた、ちねけち  
こは置りてくは、サドルにかみつくは、自転車を倒して、ちねけち  
ちねけちにすこりもんよ、さすがちねけちの親せきを引けのこ  
はあつてつづ、頭カ、り。

⑤ 山の牛にエト君をのばない!

高研山が下りた所で川原にキャンプする。その川原は下りた  
としち陸、しうや、マサ古木さんが、フロントデムレーヤーをぶ  
ち折、た。サンツカーのしのパニアームをポッキリ、アムちか  
るすてい。ちのしは西尾にも、ちねけちのかけんさんしをい  
けや古木さんのデバるパニアームは西尾さんのそれを上回る事は明

かつたものだ。そこで、その町でFDをさがしなかつたのでその  
町のキャリコ屋の内一軒は借りてきて、もう一軒は、フロント  
トラスレーラーを知らなければ山の中はこわい。つりにま木さん、  
FDなしで合宿中を匿してしまつた。「まんなもんはいいん。イン  
ナーにおとす時は足でけりこめばいい」ださうです。

おごはれである。

この合宿で三回キャンプを張つたが、その町は自炊であるの  
で、キーフックであるかつキーフーターである沢本さんの  
登場である。こゝには三回ともカレーライスである。たぶらたあ  
するけやましかは三回ともカレーだ。た。思い出してしまつた。

このカレーというものはジャガイモ、ニンジンのはかきであるが  
この分野におけるは全盛、鈴木氏の左側に並べたう得意である  
る。というわけであるから、あつたことも列のた仕事は多分あつ  
たから、まありでうらうらして座りながらのしつかりな味だ。  
キーフックは、何をやるかともまえば、ビールを飲りながら、  
米の水かけをみたり、「このカレーはビール味のまじり」とか  
いふからビールまじりホトホカレーだ、さうである。

この分野はあつて永見氏がたぶらインニアキブをこきつて  
たピーク生ストーブの火つけの技術も合宿もまじりともまじりこ  
る沢本氏は盗まれてしまつた。永見氏の地位もあつたもの、  
結局最後まで火つけは永見氏がとりしまつておこなつた。

さて、カレーが食末上るころしもたると全盛な人もたつた

かなくたり、自分の位置を確保するため、利未となく食器と意を  
始めたりするのたけ、古くよりしては一つ一つの味も味は長  
かからカレー及び、飯に一番近い位置を確保しているのたけ  
ある。ニコで得られる報酬はキーフイーターになるためのキーフ  
コックである必要があるということだ。そこで我輩上、又食器かえ  
ると最初の一杯は、一応全座のから種の下で手には盛るあるが  
りたてきまの台の45秒後はは最初のぶすなりが飲る。このあ  
かありは両手隠りである【かにかん、のほろろ、あし、い、もの】ので三  
の分野で一番有利なのはかんしり、でも古木氏である。彼の所有  
する食器は、当クラブで一番目は大まか、(一番目は佐藤長官の  
金たらい)二のぶすらし、三の戦区の小こもり、四はきりうづの二、  
三、四、五位を独占して、五にもかかちるが、一番大まか食器を  
持たし、そのほかのぶすらし、三、四、五位を独占して、五にもかかちる  
所では倍だ。

○おかんむりの目こ、その②

ニコは、けつたり四国かりな、と云ふ鬼、水。雪が降るたて  
まるとやくやくかちがる。なやと思つて、いたるえ水がどうしたと  
ばかりは雪がふてきたからなまらなり、パーベキにギブアップ  
した。でもね、まじかか、一まじもしたか、なもんね。四国には  
オトコシカところがい。ニコらで線が終るとして、りまのて。

りまのてはたるとり車を重りたり、なれ、これは全座空降、走つ  
たものにはよ、又は写真と同じ、思ひごのあ、一断極度の下り。